

令和5年度第1回佐久市不登校等対策連絡協議会 概要

- 1 日時 2023(R5)年7月11日(火) 14:00~15:10
2 場所 佐久市チャレンジ教室
3 出席者 依田会長、北垣内副会長、倉坪委員、原委員、藤沢委員、福島委員、甘利委員、林委員
以上8名
事務局 吉岡教育長、佐々木学校教育部長、堀籠主幹指導主事、大井学務係長、高橋指導主事、
大工原主任

4 会議の概要

委嘱書交付

- (1) 開会
(2) 自己紹介
(3) 教育長挨拶
(4) 正副会長選出 会長 依田 緑 委員 副会長 北垣内 博 委員
(5) 協議

令和5年度 佐久市不登校等対策連絡協議会

目的 令和5年3月に文部科学省より通知された「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」及び、令和5年3月発行の「はぐくみ」に示した提言に基づき各学校、保護者、関係機関が連携し、不登校対策支援の充実した取組を検討する。

- (1) 重点1…新たな不登校を生まない取り組みの実践見直し
早期発見、早期支援、保護者支援
(2) 重点2…不登校が長期化している生徒への社会的自立に向けた支援充実
多様な学びの場・居場所の確保、福祉部局との連携
(3) 重点3…全ての関係機関等との連携
教育支援センター、民間(NPO、フリースクール等)との連携

ア 佐久市教育委員会の不登校支援について

○佐久市教育振興計画 施策の基本目標2 全ての子ども状況に応じた学びの保障

- ・子どもたちの心の中の小さなSOSを見逃さない。「TOUCH」「コスモス相談」
- ・本年度4~6月のSMA相談対応人数311名(R4同期285名、年間511名)
- ・学校では、ICT等を活用した学習活動等の取り組みがさらに広がっている。
- ・SMA・HFが児童生徒と運動公園でサッカー⇒「好きなこと」「継続して関わる」
- ・佐久市図書館・民間企業で職場体験⇒個別に受け入れ…社会的自立の一步に

イ 佐久市チャレンジ教室の実際について

○安心して過ごすことのできる居場所(野沢会館→浅科…→中込サングリモへ)

ウ 佐久市チャレンジ教室の見学

- ・子どもたちの様子
- ・適応指導員、ハートフルフレンドの関わり
- ・チャレンジ教室の環境
- ・デマンド交通利用
- ・チャレンジPースマイル(親の会)

エ 委員の方からご意見・感想

○不登校生への関わり方は変化しているので、協議会名を「対策」より「支援」にした方がよいのではないかと。(原委員) ※今後、話題に

○資料「学校への依頼文フォーマット」の紹介。(甘利委員)

○チャレンジ教室の見学をして、子どもたちやスタッフの様子(温かい関係)を知ることができた。

○佐久市としてどのような連携を図り、充実した不登校支援につなげるのかを共に考えていきたい。

(6) 今後の予定

〈第2回 10月11日(水) 14:00~16:00〉

ア 望月サテライト校の見学・懇談(担当者、可能な生徒) ※詳細は今後打ち合わせ

- ・不登校生の受け皿、多様な居場所
- ・中学校卒業後のつなぎと切れ目のない支援のための情報共有

イ さらに支援の充実と全ての関係機関との連携について

- ・第1回の感想及び意見交換
- ・支援員等の人材確保および適切な配置と研修、校内教育支援センターの設置

- ・民間団体との情報連携、保護者支援 等
- 〈第3回 12月中旬 14:00~16:00〉
- ウ 不登校児童生徒の状況（コロナ禍とその後の変化）
- エ 各学校・関係機関の取組・連携の工夫、成果